

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	総務課		
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立	
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営		実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)	
予算等事業名	ITふれあい館振興事業				
目的	IT振興に係る事業を行い、情報格差解消と、テレワーク推進のための施設利活用を目的とする。				
内容	誰もがいつでも最先端の情報通信技術を体験及び利用できる地域開放型の施設を運営する。				
根拠法令・条例等	二宮町ITふれあい館の設置及び管理に関する条例				
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	障がい者向け講習をはじめ、スマートフォンの魅力を紹介するなど、初心者高齢者障がい者のITリテラシー向上に寄与した。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	時代の要請に合った講習会を開催する。新たな情報機器に対応していく。	
	—				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,341	4,108				
財源内訳	一般財源	4,101	3,866				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	240	242				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 パソコンに接したことがないという極めて初歩の段階の人、障害のためにパソコンを始めるのを躊躇っている人、次々に登場するタブレット端末等の新たな情報機器に戸惑っている人等にとって、最初のきっかけとして公共サービスを実施することは妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 上記のような人には、人が接する指導が最も効果がある。住民に一番近い自治体である町が実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 講習会を受講した方は徐々にパソコン操作に慣れていき、サービスコーナーで自由に操作できるようになっていく。また、スマートフォンの講習については、座学ながら好評をいただいている。利用者数については、平均36名/日(証明発行を除く)という来館者数は、館の規模を考えれば十分に利用していただいていると言える。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 インターネットサービスコーナー等における指導のすべてと講習会の大部分はNPO法人に委託している。民間企業に委託するより安価に実施できている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 上記各項目別評価のとおり、現状維持としたい。	
今後の方針(課題・意見等を簡条書き)	館本体や館機能のあり方は、公共施設再配置計画の動向に基づき対応する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	講習会事業を中心としたIT関連情報のサービス提供は、必要なものである。基本的には町が事業提供をすることが必要であるが、一部関係団体に委託できる要素もあるため、施設機能の統廃合の検討と併せて検討をする必要がある。		
今後の方向性	施設機能の統廃合の検討と併せて、提供するサービス内容の検討を行う。		